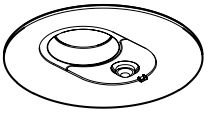
Panasonic

施工説明書

住宅用照明器具（LEDダウンライト FreePa）



品番　LGBC71622LE1　LGBC71623LE1
LGBC71624LE1

お願い　**施工時、使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。**

お客様へ　器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ
- ■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- ■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

禁止	してはいけない内容です。
必ず守る	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■ 天井

●次のような場所には取り付けない

火災・落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- **・強度のない薄い天井面**
- **・ロックウールなどのやわらかい天井面**
- **・傾斜した天井面**

禁止

◎この器具は水平天井面埋め込み専用です。
◎石こうボード(9mm以上)に取り付けできます。

●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない

過熱して火災のおそれがあります。

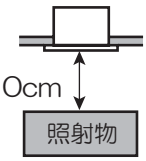
日本照明工業会SB・SGⅠ・SG形適合品

マット敷工法　**ブローイング工法**

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

必ず守る



（ドア・家具・布などの可燃物）

●本体を埋込穴に確実に押し込む

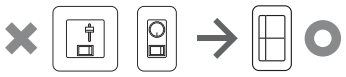
押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下のおそれがあります。

■ 壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

必ず守る

火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（取り外しには資格が必要です。）

■ その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

必ず守る

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

●屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない

禁止

火災のおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

必ずお守りください

⚠ 注意

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は、防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

●施工時、付属の梱包材は取り除かない

梱包材を取り除くと検知部が破損する原因となることがあります。

●器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

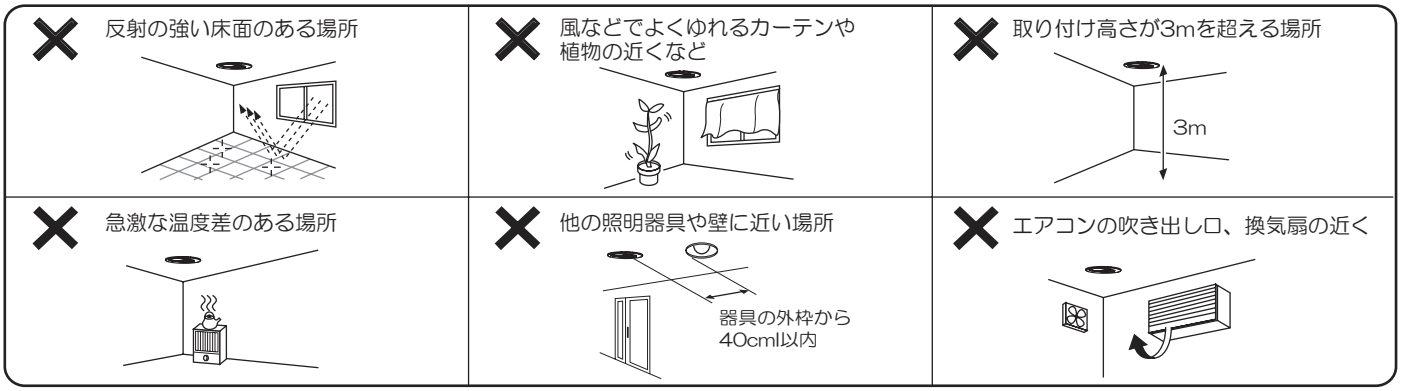
けがのおそれがあります。

施工前にお読みください

設置場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

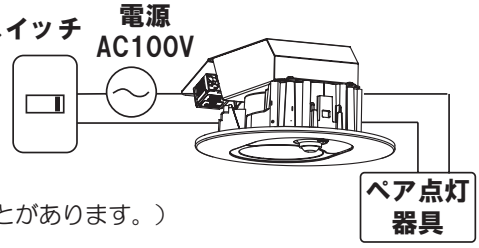


配線についてのご注意

●必ず壁スイッチを設けてください。
- 連続点灯への切り替え操作ができます。
- 長期使用しない時や、お手入れの際に電源を切ることができます。
- センサによる動作に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。

●接続した器具はセンサ付器具の点灯モードと同じ動作をします。

●ペア点灯（連動）させることができる器具は指定のセンサなし器具3台までです。
詳しくは下記サイトをご参照ください。
FreePaペア点灯型接続子器品番表
https://www2.panasonic.biz/ls/lighting/home/lightingsensor/



●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

●ほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個までご使用ください。
（4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても 器具が消灯しないことがあります。）

●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがON状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）

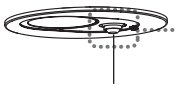
●壁スイッチ１個で２台以上のセンサ照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

センサの検知範囲

●検知部は真下にした状態から全方向に約20°可動します。

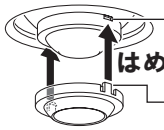
●センサはおよそ右図の「検知範囲」で検知します。右図の「検知範囲」を参考にして検知部の角度を調整してください。（記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。）

●検知範囲は、付属のエリアマスクを取り付けることで狭くできます。



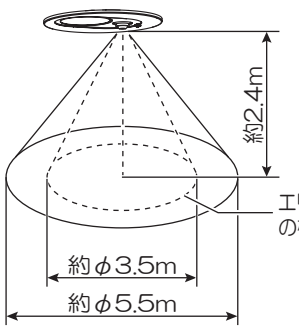
エリアマスクの取り付けかた

エリアマスクのツメ（2カ所）を検知部の凹部（2カ所）にはめ込む

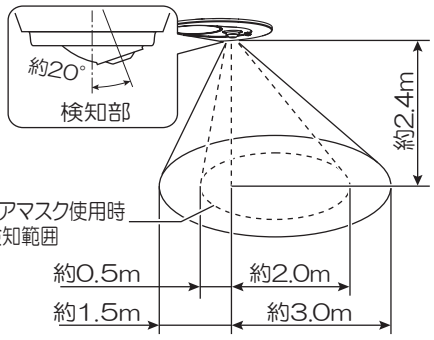


検知範囲

検知部0°（真下）の場合



検知部を約20°傾けた場合



ご注意

- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより大きく変化します。
- 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

LGBC71622-S3B4

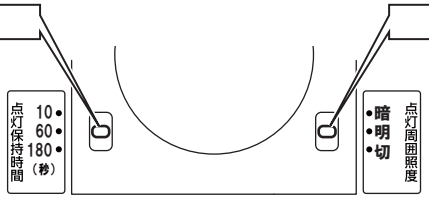
調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

調整ツマミのはたらき

点灯保持時間調整ツマミ

●人が検知範囲からいなくなるまたは静止してからどれくらい点灯させておくかを3段階(約10秒、約60秒、約180秒)に設定できます。



点灯周囲照度調整ツマミ

●周囲がどれくらい暗くなったら、人が近づいたときに点灯させるかを「暗め」、「明るめ」、「切」に設定できます。

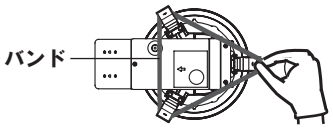
センサのはたらきはじめる周囲の明るさ
- 暗 …… 約5ルクス
- 明 …… 約25ルクス
- 切 …… 明るさに関係なくセンサがはたらきます

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

取り付け前のご注意

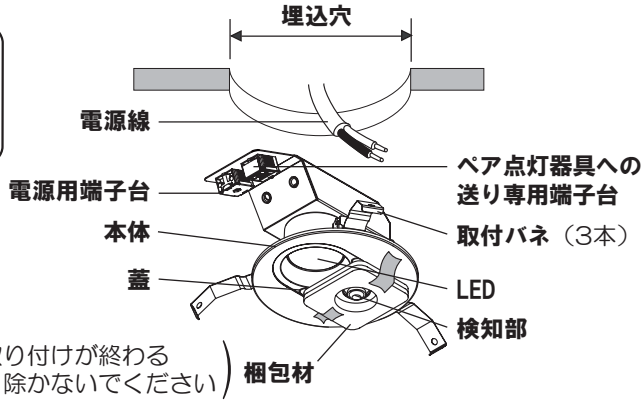
- 表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。
- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- バンドを外してください。



①取付バネのバンドより下側部分を押しながら
②バンドを外す

付属部品

□エリアマスク



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井に埋込穴をあける

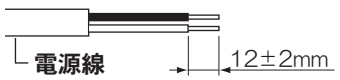
・天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

天井の厚さ	埋込穴寸法
5mm以上　9mm未満	φ150±1mm
9mm以上　25mm以下	φ150 $^{+3}_{-0}$ mm

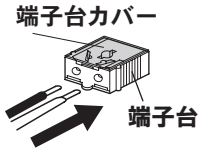
※指定寸法でない場合、すき間があきます。
精度よく穴をあけるために、
ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線、送り線を接続する

①電源線を下図のように加工する
・適合電線：VVFケーブル
φ1.6、φ2.0単線

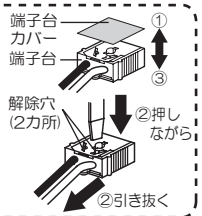


②電源線を端子台に差し込む。
端子台カバーは、取り外さないでください。
電源線を外すために取り外した場合は、取り付け直してください。

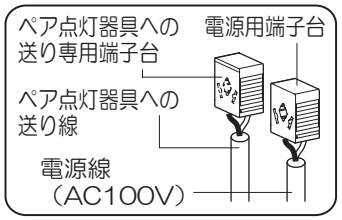


確実に差し込む

器具の取り替えなどで電源線を外す場合
①端子台カバーを取り外す
②マイナスドライバー等で解除穴を押しながら電源線を引き抜く
③端子台に端子台カバーを取り付ける

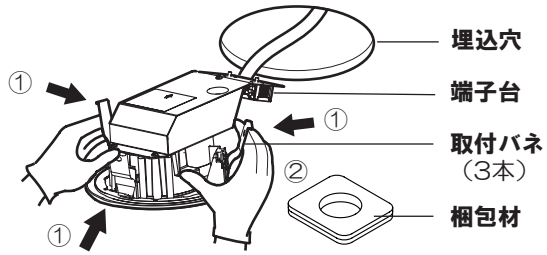


●他の照明器具を接続する場合は右図のように結線してください。
ペア点灯器具への送り専用端子台に電源線を接続すると正しく動作しません。
（照明器具が点灯し続けます）



3 本体を埋込穴に入れる

①取付バネ（3本）を押さえながら、端子台側から埋込穴に押し込む。
②天井に取り付け後、検知部を保護している梱包材を取り除く。



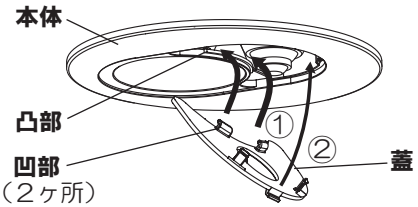
●石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、枠部をゆっくり引き下げて取付バネ（3本）を押し曲げながら取り外してください。取り外しに不備があると、天井材破損の原因となることがあります。

4 調整ツマミの設定を行う

4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」を参照して、取り付け場所に応じて設定してください。

5 蓋を取り付ける

①本体の凸部に蓋の凹部（2ヶ所）を引っ掛ける。
②蓋を押し込む。



検知範囲と調整ツマミを設定する　昼間でも設定できます

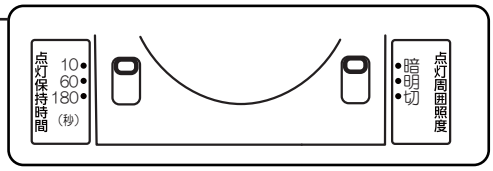
設定の前に

・壁スイッチをOFFにする

1 蓋を外す

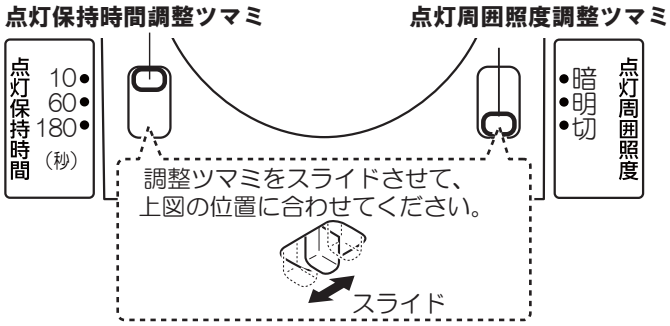
2 検知範囲を設定する

出荷時の設定



【手順】

① あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯保持時間 ……「10秒」（数字の10に合わせる）
点灯周囲照度 ……「切」（漢字の切に合わせる）

② 壁スイッチをONにする

・照明が点灯します。

③ センサの検知範囲の外にでる

・照明が約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。

・センサの検知範囲に入っている　⇒　センサの検知範囲から外にでる
・連続点灯になっている　⇒　壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて、再び壁スイッチをONにする

④ 照明が消灯してから器具に近づき、検知範囲を確認する

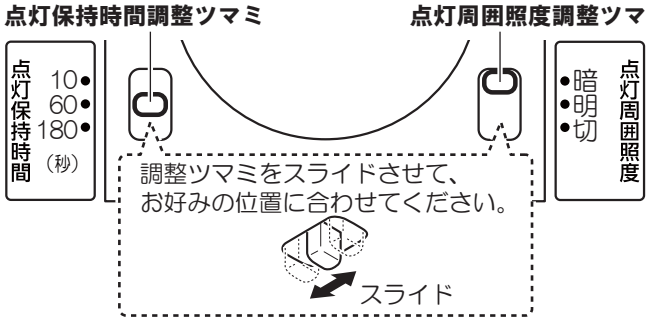
⑤ 検知範囲を変更したい場合は、検知部を動かし調整する

・検知部は全方向に約20度動きます。（☞ 2ページ「センサの検知範囲」参照）

いったん壁スイッチをOFFにして

3 点灯保持時間、点灯周囲照度を設定する

点灯保持時間（約10秒、約60秒、約180秒）、センサのはたらきはじめる周囲の明るさ（暗、明、切）を設定する



4 蓋を取り付ける

☞ 3ページ「照明器具を取り付ける」手順 5 参照

5 壁スイッチをONにする

・壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯してから消灯します。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット
〒571−8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2016-2020
LGBC71622-S3A4　N0516-040220